



セラミック平膜
開発担当者
中川 彰利

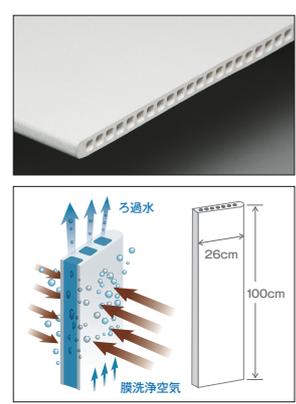
セラミック平膜
開発担当者
野口 寛

汚水を、お水に。

MEIDEN Engineer's Note : No.6 セラミック平膜

人間は、ある意味水を汚すことで生きているのかも。だとしたら、汚した水はキレイにして、川や海へ返したいですね。明電舎のセラミック平膜は、生活排水や産業排水をろ過するためのもの。キレイになった水だけが膜の内側の空洞を通過して、川や海へ流れていきます。下水や排水をキレイにするには、硬い固形物から溶剤、油、化学物資、バクテリアまでいろいろなものをろ過しなくてはなりません。そのため、硬くて丈夫で、

薬品や熱にも強く、破れる心配のないセラミックを使います。陶磁器だからエコロジー。汚れてしまっても、逆洗や高圧洗浄で簡単に元通りになります。一番の特徴は、ろ過性能が高いこと。単位面積あたりの水を流す能力の高さと明電舎にしかつけれない大きな面積の膜。それによって、一度に多くの水がろ過できるんです。世界は水でつながっています。その水をキレイにするためなら、喜んで汚れ役を引き受ける明電舎なのです。



膜のこと、Webでも、うまく説明します | [明電舎 エンジニアズノート](#)

テクノロジーで、流れを変える。 株式会社 明電舎